

## 新聞広告を果物籠に

山陽折込センター 45年記念し教室



折り込み広告を使って果物籠作りに挑戦する参加者

地域おこし協力隊の谷口江利香さん(45)＝阿波＝は「普段使わな  
い広告も一手間加える  
ことで生活に役立つ作  
品となることに感銘を  
受けた。地域の方にも  
伝えていきたい」と話  
していた。

山陽折込広告センター  
（岡山市北区新屋敷  
町）は創立45周年を記  
念して21日、新聞の折  
り込み広告を使った手  
芸教室を、津山市山北  
の山陽新聞津山支社で  
開いた。

水江＝の指導の下、広  
告を巻いて細い棒状に  
したもの丁寧編み  
込み、約2時間かけて  
作品を仕上げた。

手芸教室は広告の再  
利用方法を知ってもら  
おうと企画された。

（山本未来王）

参加者約20人は、直  
径25センチほどの果物籠作  
りに挑戦。折り込み広  
告を使って編む「あん  
でるせん手芸」の作家  
西山廣子さん＝倉敷市